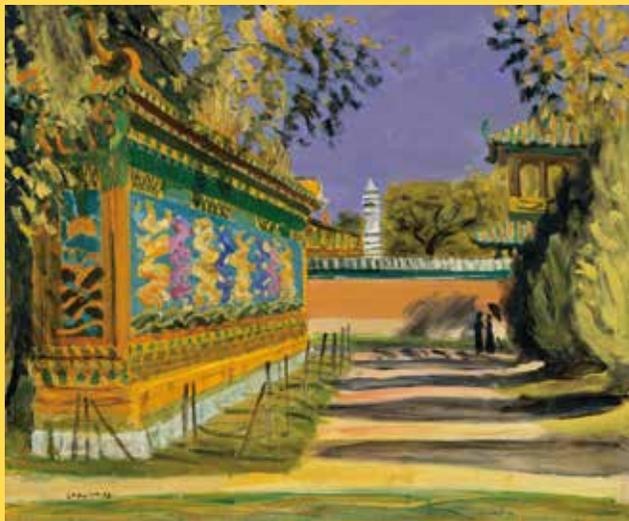


MIYAMOTO Saburo Museum

Schedule & Information



宮本三郎《九龍壁》油彩・キャンパス、1941年頃、小松市立宮本三郎美術館蔵

展覧会スケジュール

2025.4 - 2026.3



美術館・ふるさと館
ホームページ

[https://
komatsu-museum.jp
/miyamoto/](https://komatsu-museum.jp/miyamoto/)

小松市立
宮本三郎美術館

〒923-0904 石川県小松市小馬出町 5
TEL 0761-20-3600 / FAX 0761-24-3374
Email msm@city.komatsu.lg.jp

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日除く)、
展示替え期間、年末年始(12/29～1/3)

入館料 一般 300 円 (250 円)、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体 ※障がい者手帳持参者と同行者1名まで入館料免除
※小松市内65歳以上を証明するもの(運転免許証等)提示で入館料免除
※特別展の観覧には、別途料金が生じる場合あり

こまつミュージアム・パス 10日間券 / 500 円 年間券 / 1,500 円

※本陣記念美術館・宮本三郎美術館・錦雲展示館・尾小屋鉱山資料館・動進帳ものがたり館で利用可
※期間中は、何でも利用可 ※特別展の観覧には、別途料金が生じる場合あり

カフェ〔キャトルセゾン〕(宮本三郎美術館内)

月・日曜日定休 / 営業時間 10:00～17:00 / TEL 0761-21-1667

分館 宮本三郎ふるさと館 〒923-0982 石川県小松市松崎町16-1
TEL / FAX 0761-43-3032

生誕地・小松市松崎町にある分館では、宮本三郎の愛用品や画材、松崎町所蔵の作品を
展示しています。

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日除く)、
年末年始(12/29～1/3)

入館料 無料

企画展

線の豊饒

宮本三郎と線を嗜む

3月22日(土) - 6月29日(日)

宮本三郎の素描や油彩等が蔵する線の豊かさを堪能します。併せて、宮本三郎記念デッサン大賞展の歴代受賞作品を展覧します。



宮本三郎
(探母)
紙に鉛筆、制作年不詳、
小松市立宮本三郎美術館所蔵

企画展

顔っておもしろい!

顔が語るアートの魅力
心をうつす不思議なシグナル♪

7月19日(土) - 9月7日(日)

古典的な肖像画から、独創的な表現で描かれた自画像まで、さまざまなアーティストが描いた“顔”を紹介します。



畑 尚治
(己れ豊泰麗・赤)
カンヴァスに油彩、
2001年
小松市立博物館蔵

Komatsu Biennale 2025

第8回 宮本三郎記念デッサン大賞展 明日の表現を拓く

優れた素描家と称された宮本三郎を顕彰するため、デッサンの全国公募展が隔年で開催されており、本展では審査で選ばれた約50点のデッサン・ドローイングを展示します。現在を生きるアーティスト達の現表現に迫ります。

小松展 (石川) 9月20日(土) - 11月3日(月・祝)
会場: 小松市立宮本三郎美術館

東京巡回展 11月15日(土) - 11月23日(日・祝) 会期中無休
会場: 世田谷美術館 区民ギャラリーA・B

小松展 同時開催 小松の至宝

小松市の指定文化財のほか、市所蔵の名品を紹介します。併せて、デッサン大賞展開催を記念し、宮本三郎の油彩画および素描を公開します。
会場: 本陣記念美術館 ※宮本三郎美術館より徒歩3分

本陣記念美術館開館 35周年・宮本三郎美術館開館 25周年
二代 松本佐吉・宮本三郎生誕 120年記念

一九〇五 二代 松本佐吉と宮本三郎

11月22日(土) - 2026年3月8日(日)

1905年、二代 松本佐吉と宮本三郎が石川に生まれました。工芸で名高い石川に両者は何をもたらしたのでしょうか。美術と工芸という2つの視点からそれらを検討し、日本近現代美術史における石川の特徴を考えます。

会場: 本陣記念美術館、宮本三郎美術館 (観覧券共通)



左から) 初代松本佐吉《夏草文花瓶》1935年頃、小松市立博物館所蔵
二代松本佐吉《花紋角形花瓶》制作年不詳、小松市立博物館所蔵
宮本三郎《レ・トロワ・グラス》カンヴァスに油彩、
1970年、小松市立宮本三郎美術館所蔵